

〈山崎賞〉

「歩道のブロックのすき間に生えるざっ草2」
～オヒシバの生える場所～

1 研究の動き

私は、「歩道のすき間に生えるざっ草2 オヒシバとメヒシバ」というテーマで自由研究をした。

調べた結果、次のことに気づいた。

- ・歩道では、メヒシバよりオヒシバの方が生えている本数が多い。
- ・メヒシバは、土がある植え込みの近くに生えていることが多い。

7月の終わりにごてん場のりゅうほう寺というお寺に法事に行ったとき、小さなオヒシバとメヒシバがたくさんちゅう車場に生えていた。ちゅうしゃ場のオヒシバとメヒシバにもちがいがあった。そこで、去年にひきつづきオヒシバとメヒシバを調べることから始めた。

2 オヒシバ、メヒシバについて(参考図書より)

オヒシバ(図1)は、空き地、農道内、畑やその周りなど各地に普通に生息する。踏みつけに対しても強く、グラウンドや、歩道のすき間などにもよく生える。



図1 オヒシバ

メヒシバ(図2)は、地面にのびた茎のと中から根を下ろすことがある。メヒシバの葉や茎はやわらかい感じ。歩道のすき間に生えるメヒシバは体を縮めて生きのびる。



図2 メヒシバ

3 研究の流れと方法

(1) りゅうほう寺のちゅう車場のざっ草調べ

- ・場所 ごてん場ぐみ沢351
- ・調べた日 8月1日
- ・方法

スケッチブックにちゅう車場の図を書いて、オヒシバ、メヒシバ、アキメヒシバの場所と数を調べた。数が多い場所は、○でだいたい場所をかこんで、○の中に本数を書いた。

- ・調べたかったこと

オヒシバとメヒシバの生えている場所のちがい

(2) 通学路の歩道のざっ草調べ

- ・場所

通学路(県道139号線ぞいの南側の歩道本郷町3番～1番、みゆき町9番～7番)

- ・調べた日

8月3日 生えている場所を調べた。

8月9日 去年と同じ場所の写真をとった。

8月11日 数枚写真をとりに行った。

- ・方法

去年と同じ場所を、同じ方法で調べた。

- ・調べたかったこと

去年と今年の生えている場所のちがい。特にオ

ヒシバについて。

(3) 空き地やちゅう車場に生えるオヒシバ調べ

・場 所

私の家の近くの空き地とちゅう車場（図3）

・調べた日 8月20日

・方 法

オヒシバをさがして、用紙に一つ一つ印をつけていった。場所①は、フェンスとビニールハウスを目印にして、空き地を $10 \times 4 = 40$ に分けて調べた。場所②は、場所①の空き地と同じように北側と東側のフェンス、ちゅう車場のロープを目印にした。たくさんあったり、車の下に生えてたりして、せいかくに数えられなかった。

・調べたかったこと

本当にオヒシバは出入口近くに多いのか。

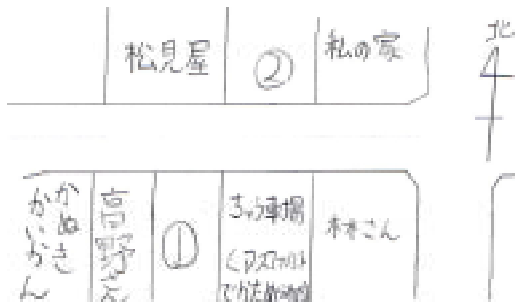


図3 調べた空き地①とちゅう車場②



図4 場所①のあき地

4 調べた結果と考えたこと

(1) りゅう宝寺のちゅう車場

お母さんと一緒にオヒシバとメヒシバの生えている場所を調べて、印を付けていった。結果は、図5のようになった。

図5から、次のようなことに気がついた。

- ・オヒシバは、車を止める所や、人がよく通

る場所にまとまって生えている。

- ・メヒシバはちゅう車場おくの南側と、北側の出入口の両わきにかたまって生えている。人があまり通らないようなすみの方に生えていると思った。
- ・メヒシバの近くに木の枝やかれ葉があった。
- ・オヒシバは、特に石がゴロゴロしているちゅう車場の車を止める所に生えていた。



図5 りゅう宝寺のちゅう車場

(2) 通学路の歩道

去年と同じ歩道でオヒシバとメヒシバがどう場所が変わっているかを調べた。通学路の歩道①(図6)では、全体的にオヒシバがたくさんふえていた。通学路の他の歩道②～⑤も調べてみると、お店のちゅう車場の出入り口にオヒシバが、多く生えていた。しかし、コンビニや、ガソリンスタンドの前は、車の出入りが多いのに、なぜか生えていなくて、不思議だった。

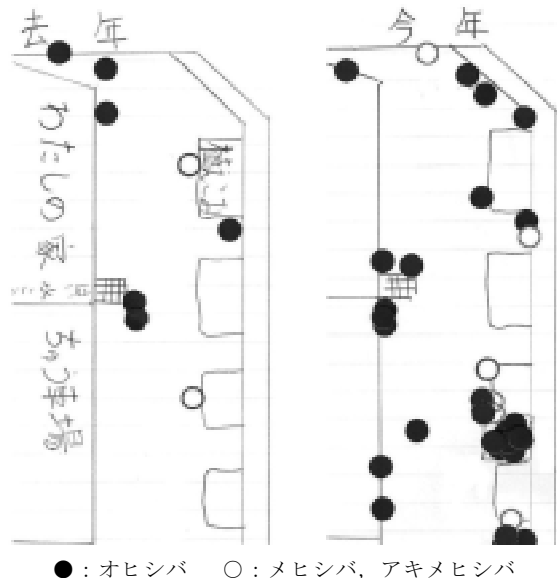


図6 通学路の歩道①

(3) 家の近くの空き地やちゅう車場

(1)、(2)の結果から、オヒシバは人がよく通る所や、車が出入りするところに多く生えていることに気付いた。そこで、家の近くの空き地やちゅう車場で調べてみた。(図7)

調べた結果、次のようなことが分かった。

- ・オヒシバは、出入り口や人が通るところに生えるようだ。
- ・オヒシバは、メヒシバなどがかたまって生えている中には生えていない。
- ・オヒシバは、かたまって生えることもあるけれど、他のざっ草が生えていない石がゴロゴロしている所に一つだけ生えていることも多い。

5 まとめ

- ・オヒシバは、人がよく通る所や車が出入りする所や、車をとめる所に生えるようだ。車がたくさん通る所には、生えにくいようだ。
- ・オヒシバは、かわいていて石がゴロゴロしている所に生えやすいようだ。

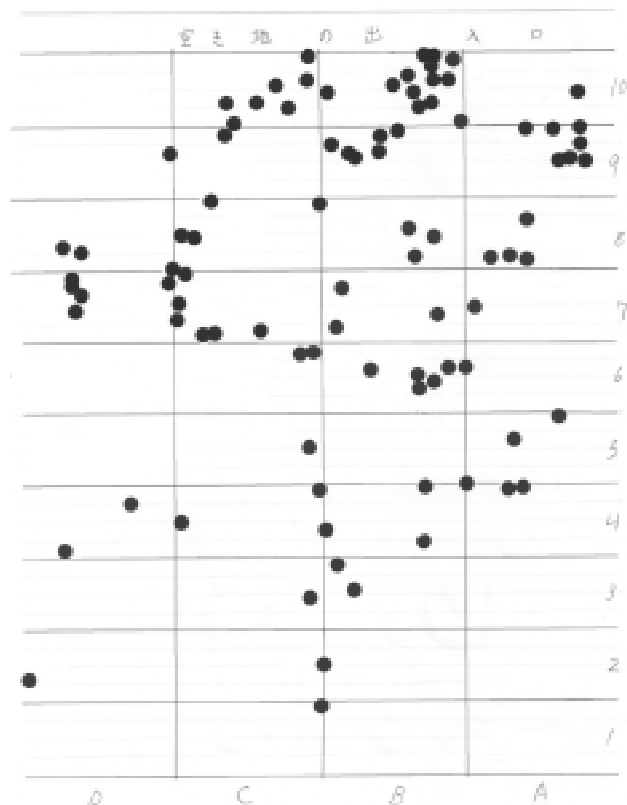


図7 ちゅう車場に生えていたオヒシバ

- ・メヒシバ、アキメヒシバのむれの中にはオヒシバは生えないで、そのまわりに生えている。

6 感想

私は、オヒシバとメヒシバが、去年の研究で好きになり、学校の登下校、車に乗っている時に、オヒシバとメヒシバをよく見かけます。学校のざっ草ぬきで、オヒシバ、メヒシバがたくさん生えていて、ぬくのがいやでした。とても大きくのびていて、私の大好きなオヒシバ、メヒシバがぬかれていく光景を見て、少し残念でした。時々オヒシバ、メヒシバをぬいている人がいて、とても残念です。家の門の前に生えているオヒシバまでおばちゃんにぬかれてしまい、お父さんがちりとりに入って、少しかれかけているオヒシバを見つけ、二人で元の場所にうめ直し、水をかけてやりましたが、数日後、かれてくたくたになっていました。そのオヒシバは、私の大好きなオヒシバだったので、とてもがっかりしました。 私がいつも見ているオヒシバ、メヒシバもふんばって生きているのもっと大切にしてほしいです。

〈参考図書〉

岩瀬徹ほか著『校庭の雑草』全国教育農村協会